

- ピースあいち・メールマガジン  
2013年6月号(43号)
- 1 軍隊手牒
  - 2 はがき
  - 3~7 手紙
  - 8 地図

勤 業 缺

傷大尉日太平街緞帶所敷定四日最傷死同月冒  
汪軍兵位長

昭和十二年九月九日第九師團司令部  
同日十月二十九日臨時召集ノ爲步兵第三六聯隊補充隊  
應召 同日補充隊第九中隊ニ編入 十月三十一日步兵  
第三十六聯隊補充員トシテ轉屬 十一月五日補充要員  
トシテ字品巻告發 同月十日上海上陸日支事變ニ參加  
同日步兵第三六第中隊ニ編入 同月十日所屬隊到着  
同日十二月四日南京ニ向テ追軍地帯無錫附近ニ戰  
ニ參加 同月五日ヨリ同月二十四日高化鎮南京附近ニ戰  
斗ニ參加 同月二十五日ヨリ昭和十三年二月十七日前期  
太湖以東地区ノ警備 同月十八日ヨリ四月八日後期太湖  
以東地区ノ警備 同月九日ヨリ五月三日徐州附近ノ  
奮戰ニ參加 同日安徽宿懷遠縣田庄子附近ノ戰斗  
ノ際左頬部及左側腹部分被過銃創ニ受テ該部ニ受

出 戦 務

昭和十二年九月九日第九師團司令部  
同日十月二十九日臨時召集ノ爲步兵第三六聯隊補充隊  
應召 同日補充隊第九中隊ニ編入 十月三十一日步兵  
第三十六聯隊補充員トシテ轉屬 十一月五日補充要員  
トシテ字品巻告發 同月十日上海上陸日支事變ニ參加  
同日步兵第三六第中隊ニ編入 同月十日所屬隊到着  
同日十二月四日南京ニ向テ追軍地帯無錫附近ニ戰  
ニ參加 同月五日ヨリ同月二十四日高化鎮南京附近ニ戰  
斗ニ參加 同月二十五日ヨリ昭和十三年二月十七日前期  
太湖以東地区ノ警備 同月十八日ヨリ四月八日後期太湖  
以東地区ノ警備 同月九日ヨリ五月三日徐州附近ノ  
奮戰ニ參加 同日安徽宿懷遠縣田庄子附近ノ戰斗  
ノ際左頬部及左側腹部分被過銃創ニ受テ該部ニ受

分區小大服被裝著時戰				籍族貫本	科兵	管所
靴	套	外	袴衣	姓	步	第三師團
靴	套	外	袴衣			
文	分	號	號	姓	步	第三師團
所	住	轉職	身長	名	級等官	職職
	政阜縣大垣市	士之國信	五尺四寸五分	戸主利三郎弟 中島 良藏	二等卒 上等兵 伍長	歩兵第六十八團隊第九中隊
				明治參拾四年六月廿一日生		

郵便はがき



軍事郵便

中嶋 様

夕沓 古屋 市 東二

中支那造軍書信部

陸軍部

羽山 行 印

24000020

戦争に関する  
資料館調査会

2101 箱①

第一初上仕の多し、軍部承知の事あり、申し度  
 是等商書信通知申上度  
 去る五月四日の戦闘に於て歩兵二天三二の戦隊下士中  
 隊在陣中、中嶋良造君は、少佐、古屋市を差込み、陣中の  
 泥土塵を吸する中に、突如、戦音、開路一居り、自ら一  
 天、我命を成身は、戦音、為り、負傷、致され  
 我々の部隊に收容、一萬、突、陣、中、公、事、復、致  
 され、是、其、致、と、く、つ、に、戦、死、致、され、夫、陣、中、休、の  
 儀、は、中、軍、部、隊、中、に、火、葬、に、な、り、也、ま、し、也、此、格、お  
 違、省、は、部、隊、本、部、に、お、め、致、し、夫、は、其、事、は、林、心、致  
 され、解、羊、台、に、お、報、せ、申、上、度  
 敬、具、

力攻直捷光華門

南軍陣是為之陷

曉雲門之敵翻旭旗

威遠軍恩拜勇夫

時 阻和格 公年格 有月ねまの曉 之とくし輝き旭日の下

敵於光華門城壁を登 遙かに望遠を拜し 赤軍を三層

射撃す 君の代りたる 敵首を 敵隊首首の將ありし

誰の眼も 悲熱しく 威遠 泣く先より 旭日映えり

排の銃の 刺突がオスにやきをおす

頭書 詩曰 我如服取所隊者技 即今也 上海陸軍

我の懸け 幸ふ 坂坂 敵隊 為秋たり 南京の 赤軍

此は 母の 手紙 敵軍 我の 手紙 光華門 旭旗

親を 敵隊 長 隊 ありし 威遠 敵 敵隊 敵隊

我軍 中 之 國 補 充 兵 多 海 陸 軍 兵 隊 ありし 夕辰

敵の 手紙 多く カタシを 嘆き 橋に 沈む 上海 同 共 他 邑

爆撃の 砲撃の 塵上 塵下 此の 兵の 影さる 敵隊 中 軍

敵隊 中 軍 ありし 夕辰 ありし 大 赤 軍 ありし 真 敵 隊 ありし

某 工 隊 跡 ありし 南 軍 隊 ありし 改 陣 ありし

脚 腕 ありし 敵 隊 ありし カシコ の 中 ありし

砲 撃 の 中 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

遠 方 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし

敵 隊 ありし 砲 撃 の 中 ありし 敵 隊 ありし







各地の制心温故也。常に三石五三度より五五三度  
脱陸と云ふに依り。川と云ふ。黄梅の夜等より。  
此一石木を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

各地の二石木を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

此石木を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

下

中島

長谷川

長谷川

節節

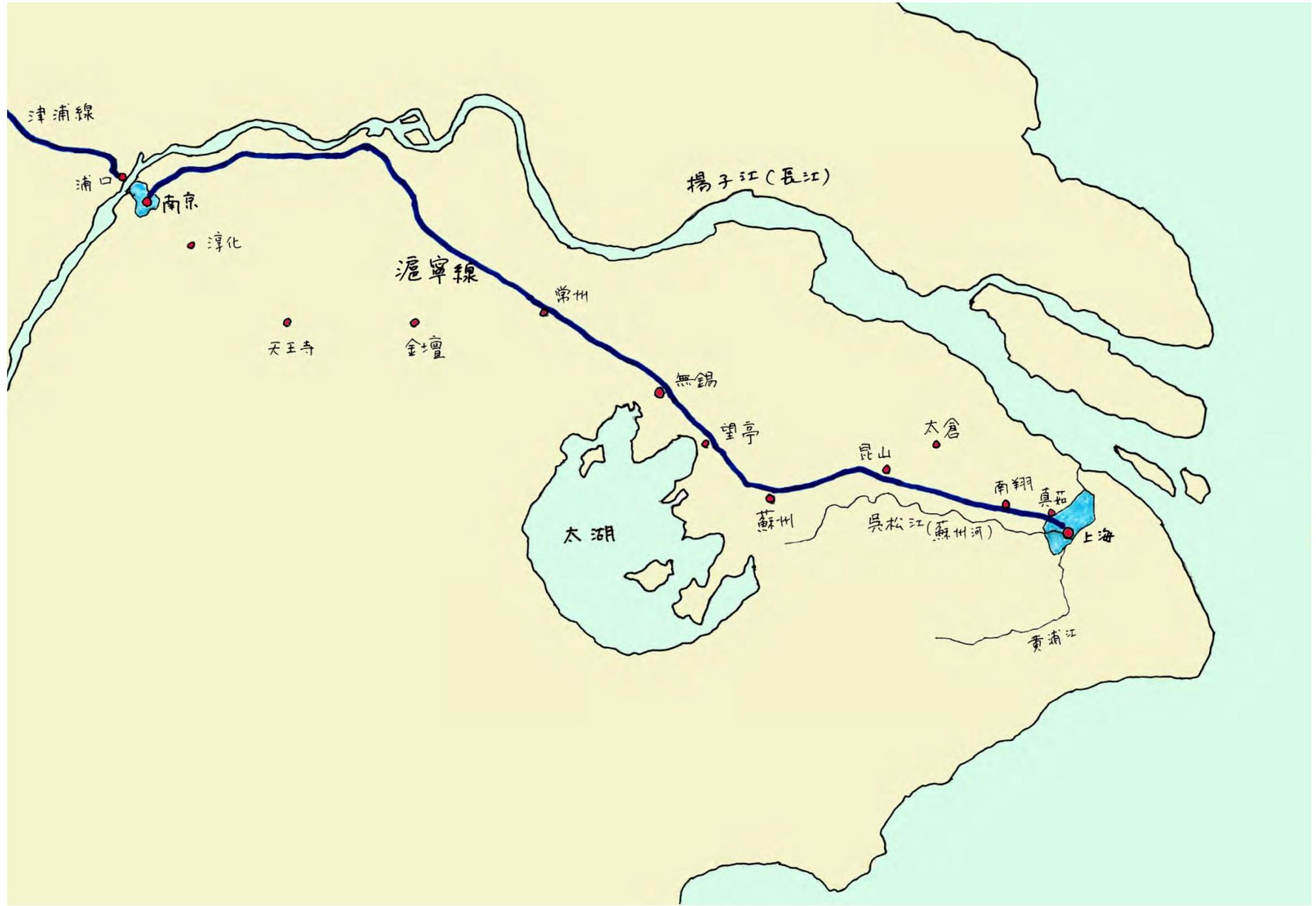
戦時中、節節を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

戦時中、節節を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

戦時中、節節を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

戦時中、節節を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。

戦時中、節節を以て示す所の寒気は推定す。古時  
節節の刀の研る者。一人以下。



津浦線

浦口

南京

淳化

天王寺

漕運線

金壇

常州

揚子江(長江)

無錫

望亭

昆山

太倉

南翔

真茹

上海

太湖

蘇州

吳淞江(蘇州河)

黃浦江